



南小だより



学校教育目標 自信をもち 自分の力を発揮する子

「その声を覚えています。」

読み聞かせに来てくださっている“ぐりとぐら”の方からこのような話を伺いました。

先日、眼科に行った。視力測定の女性と話しているうちに

「失礼ですけど、昔学校で、読み聞かせをしてくださって
いませんでしたか。お顔は思い出せないのですが、**その
声を覚えています。私は読み聞かせが大好きでした。」**



そう言われ、ずっと昔から続けていること、今もまだ現役でがんばっていることを
伝えた。とても幸せな気持ちになって、いろいろなところでこのことを話している。

この話を伺って、私もとても幸せな気持ちになりました。本校の読み聞かせボランティア“ぐりとぐら”には、25年以上の歴史があります。子どもの心にいつまでも残る読み聞かせを本当にありがとうございます。

読書や読み聞かせ体験、実際に「書く」体験をしていくことが、論理的な思考のために有効であることは皆さんも実感しているのではないのでしょうか。

親子で、地域で、さらなる読書体験が積み重ねられていくことでしょう。
変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。

(校長 杉山豊和)

*毎日の学校生活の様子を「小笠南小ニュース」で紹介しています。

是非、御覧ください。

(<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/ogasaminami/news.html>)

